

2020年度（令和2年度）事業報告

内閣府が昨年11月に公表した年次経済財政報告では、昨年新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために国内の経済社会活動の抑制を余儀なくされ、経済は大きく落ち込み、景気は極めて厳しい状況となっている。

その後も感染拡大防止に努めながら経済社会活動は段階的に引き上げられ、一時期、経済は持ち直しに転じたものの、全国的に感染者数が再び増加傾向に転じるなど感染症への懸念は未だ大きく、先行きも極めて不透明な状況となっている。

こうした中、今後も構造的な生産年齢人口の減少は続くことから、国においては従来から経済、社会の活力を維持・発展させていくため、一億総活躍のもとでの女性や高齢者の就業を促進し、同時に働き方改革を進めてきている。

その中で高齢者の就業促進に関し、地域における多様な雇用・就業機会の確保に向けてシルバー人材センター事業の推進を掲げている。

このような状況の下で、当センターの2020年度（令和2年度）の事業は第三次中期計画の初年度であり、組織の根幹である会員の確保と就業機会の拡大、安全就業の徹底などに重点的に取り組んだが、実績としては会員数、契約金額ともに伸び悩み、前年度を下回る結果となった。

会員の確保については、定年延長や継続雇用制度の定着などにより厳しい環境であったが、新規入会者の加入促進に努め、入会者は前年度と同数を確保できたものの、退会者が増加したことから会員数は減少し、依然として厳しい状況となった。

受注実績は、請負・委任業務と労働者派遣事業において、それぞれ受注件数、契約金額とも減少し、全体として前年度を下回った。

安全就業面では、平素の作業状況を点検する安全パトロールを強化し事故の未然防止に取組み、事故件数は前年度より減少したものの、依然として慣れによる注意不足や安全意識の低下によるものと思われる事故が発生した。

今後、一層安全就業に配意し、当センターが高齢者の受け皿としての機能を十分果たしながら地域社会に貢献していけるよう、会員の確保や就業機会の拡大等に取り組むこととする。

2020年度（令和2年度）の事業実績と実施状況は、次のとおりである。

1 会員の確保

正会員の状況は、入会者は155人と前年度と同数であったが、退会者が221人と前年度より7人増えた結果、年度末の会員数は、1,192人（男性833人、女性359人）で、前年度末の会員数に比べ、66人（5.2%）減となった。

(1) 新規入会者の入会促進

- 毎月第4木曜日に本部と北部事務所での入会説明会のほかに、5月・6月・1月・2月には、本部と北部事務所での入会説明会を各1回追加実施するとともに、10月・3月には東部・西部・北部地域で入会説明会を実施した。
- 新たに入会説明会用に製作したDVDを使用することにより参加者が具体的に就業をイメージできるよう努めた。また、理事が出席して就業体験の紹介や就業相談に応じたほか、会員互助会への加入奨励も行った。さらに、説明会後の入会手続き段階では、個別相談に応じるなど入会促進に努めた。
- 入会申し込みの無かった説明会参加者には就業案内を送付するなどフォローにも努めた。
- 県連合会主催の高齢者活躍人材確保育成事業のシニアライフセミナーにおいて、センターやシルバー事業をPRし入会促進に努めた。
- 会員募集と入会説明会のチラシを新聞折込により周知を図り、参加者の増等一定の成果があった。
- 関係機関と主催した「シニア向け合同就職説明会」においてブースを設置し、センターの説明や入会案内を実施した。
- 会報誌「いきいきふくやま」や事務局だより、職域班会議等を通して、会員に新規入会者の勧誘を要請するとともに、新入会員獲得等にポイントを付与するポイント表彰制度を導入し、勧誘・入会促進につながり10名の表彰となった。

(2) 女性会員の加入促進

- 県連合会の高齢者活躍人材確保育成事業の介護補助講習において入会案内と就業相談を実施したほか、女性会員の知人同伴でのスマホ教室の開催などにより加入促進に努めた。

(3) 会員の退会防止の推進

- 新規入会者と未就業会員の早期就業に向けたフォローアップ
 - ・新規入会者や未就業会員に対し、公園除草の体験就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。
 - ・随時、電話等により就業情報を提供し、就業相談にも努めた。
- 会員間の連携強化
 - ・会報誌への互助会の特集記事や80歳代会員の座談会を掲載することにより会員の活動継続への動機づけとともに、連帯感の醸成に努めた。

2 就業機会の拡大

(1) 新規事業の開拓

- 福山市関係課と新たな維持管理業務について協議し受注を決定した。

(2) 労働者派遣事業の拡充

- 労働者派遣事業について、前年度からの継続した事業所からの受注に加え、「三密」回避等が可能な就業依頼を会員に情報提供し、下見を実施した結果、新たな事業所から室内・店内清掃や販売業務などを受注した。

(3) 発注者の満足度向上に向けた講習・研修の実施

- 会員の技能向上に向け講習会を実施した。

剪定では、入門編の講習会を実施し、参加会員 15 人のうち 10 人が剪定班で就業した。

講習名	開催日	参加人数
自走式刈払機取扱講習会	6月1日・2日	17人
剪定講習「入門編」	7月6日・27・28	15人
宛名書き講習会	10月7日・14日・21日	47人
剪定講習会「上級編」	3月11日・18日	17人

(4) 独自事業の推進

- 再生自転車販売事業、チップ事業、さわやかまなび教室事業に取り組んだ。

(5) 関係団体との連携

- 福山市関係課と新たな維持管理業務について協議し受注を決定した。

(再掲)

3 普及啓発活動の推進

(1) 普及啓発活動の強化

- 福山市の広報紙及び関係機関の機関誌を活用した PR 活動

- ・福山市広報紙「ふくやま」への PR 記事の定期的な掲載や大型記事の掲載のほか、福山市社会福祉協議会の機関誌への PR 記事の掲載など当センターの事業紹介に取り組んだ。

- センター車両（軽四ダンプ）にラッピング広告を追加し、新規入会者の獲得に向けた PR 活動に取り組んだ。

- 会員募集と入会説明会のチラシを新聞折込により周知を図った。(再掲)

- ホームページにより、シルバー人材センター事業の紹介や入会案内などの情報発信に取り組んだ。

- 会報誌「いきいきふくやま」や「事務局だより」の発行

- ・会報誌や事務局だよりを発行し、会員にセンター事業の周知を図るとともに、会員による新規入会者の勧誘を要請した。

- ・労働者派遣事業の派遣先事業所（41 所）に「いきいきふくやま」を送付し PR に努めた。

(2) 社会参加活動の推進

(例年実施していた福山ばら祭清掃ボランティア活動や福祉まつりへの出店などはイベントそのものが中止となったため、シルバー事業のPR活動は実施できなかった。)

4 安全就業の推進

2020年度(令和2年度)の事故は、傷害事故が7件、賠償事故が12件で、計19件発生したが、前年度と比べると全体で10件の減少となった。傷害事故は8件減少、賠償事故は2件の減少となっている。傷害事故としては、転落・転倒による事故や裂傷事故等が発生し、賠償事故については、刈払機による作業中の小石飛散事故やケーブル等切断のほか、作業中の接触等による物損となっている。物損事故に関しては、特に作業前の周辺財物等の移動や発注者との損傷の有無等の点検不足によるものであり、徹底することにより防げたと思われる事故が大半であった。

○傷害事故	落下・転落による事故	4件	挟まり等事故	2件
	ハチ刺され	1件		
○賠償事故	接触による物損事故	3件	誤操作等による切断事故	3件
	刈払機による飛散事故	3件	その他	3件

(1) 安全委員会・安全パトロールの実施

- 安全委員会を6回開催し、安全就業推進計画や安全対策重点項目を定め、事故の未然防止の観点から、安全パトロール実施要領に基づき平素の作業状況の安全パトロールを6回実施した。
- 事故の原因分析と対策を検討し、「安全だより」やリーダー会議などでその情報の共有を図り、事故の未然防止に努めた。
- 夏期の熱中症対策(実施期間:7月25日~8月31日)を実施した。

(2) 作業前ミーティングの実施と安全就業チェックシートの活用の徹底

- 「安全だより」や各職域班を通して、作業前ミーティングや危険箇所の事前確認の徹底と防護対策の確実な実施を周知した。

(3) 安全講習・研修の推進

- 会員の技能向上、知識の取得や安全就業に向け、次の講習会等を実施した。

【講習会】(再掲)

講習名	開催日	参加人数
自走式刈払機取扱講習会	6月1日・2日	17人
剪定講習「入門編」	7月6日・27・28	15人
剪定講習会「上級編」	3月11日・18日	17人

(4) 会員自らによる健康管理の推進

- 事務局だよりや安全だよりで、福山市の健康診査受診の呼びかけや日常の体調管理の留意点、新型コロナウイルス感染予防などの周知を図った。

5 適正就業の推進

(1) 適正就業の推進

- 労働者派遣事業について、民間事業者に周知を図り、受注内容や就業実態に留意しながら適正就業の推進に取り組んだ。
- 新規の民間発注者には安全衛生や労働関係法規の遵守など適正就業の徹底を周知した。

(2) 就業機会の均等化の推進

- 公共事業部門のワークシェアリング（公共業務の公募）の実施
 - ・より多くの会員が公平に就業できるよう公共事業部門でワークシェアリングを実施し、26人が新規に就業することとなった。
- 新規入会者と未就業会員への就業の提供（再掲）
 - ・新規入会者や未就業会員に対し、公園除草の体験就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。

(3) 発注者の満足度向上の推進

- 会員の接客・技能向上などに向け、次の講習会を実施した。

【講習会】（再掲）

講習名	開催日	参加人数
自走式刈払機取扱講習会	6月1日・2日	17人
剪定講習「入門編」	7月6日・27・28	15人
宛名書き講習会	10月7日・14日・21日	47人
剪定講習会「上級編」	3月11日・18日	17人

- 職域班リーダー会議や事務局だよりなどを通して、発注者への迅速な連絡と作業前や完了後の確認の確実な実施、就業報告書の迅速な提出などを依頼し、発注者へのサービス向上に取り組んだ。

6 組織体制の充実と財政基盤の強化

(1) 組織の機能強化

- 会員確保に向けた取組みや安全就業の推進などのため、理事会や理事会専門委員会、各種委員会を開催した。
- 職域班のリーダー会議などを通し、会員による自主的な運営ができる組織づくりに取り組んだ。

【総会・理事会等の開催状況】

① 定時総会[1回]

開催月日	内 容
6月16日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 2019年度（令和元年度）事業報告について</p> <p>議案第2号 2019年度（令和元年度）収支決算について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 2019年度（令和元年度）収支補正予算について</p> <p>報告第2号 2020年度（令和2年度）事業計画について</p> <p>報告第3号 2020年度（令和2年度）収支予算について</p>

②理事会 [4回]

開催月日	内 容
5月15日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 特定費用準備資金の保有について</p> <p>議案第2号 特定資産取得資産の保有について</p> <p>議案第3号 2019年度（令和元年度）事業報告について</p> <p>議案第4号 2019年度（令和元年度）収支決算について</p> <p>議案第5号 表彰について</p> <p>議案第6号 2020年度（令和2年度）定時総会について</p> <p>議案第7号 ポイント表彰制度実施要項の制定及び 就業開拓報酬金取扱規程の廃止について</p> <p>議案第8号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 未収金の回収状況について</p>
10月15日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 適正就業取扱基準の一部改正について</p> <p>議案第2号 理事及び監事候補者選考基準の一部改正について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第5号 未収金の回収状況について</p>

2月16日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 未収金の回収不能額の処理について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 ワークシェアリング（公共業務の公募）の取組みについて</p> <p>報告第5号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第6号 未収金の回収状況について</p>
3月16日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 2020年度（令和2年度）収支補正予算について</p> <p>議案第2号 2021年度（令和3年度）事業計画(案)について</p> <p>議案第3号 2021年度（令和3年度）収支予算(案)について</p> <p>議案第4号 定款の一部変更（案）について</p> <p>議案第5号 理事長に対する権限委任について</p> <p>議案第6号 2021年度（令和3年度）役員賠償責任保険契約の承認について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 2020年度（令和2年度）収支決算見込について</p>

③理事会専門委員会 [1回]（総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会）

開催月日	内 容
9月29日	<p>総務委員会と事業委員会の合同委員会の開催</p> <p>(1) 会員理事及び会員監事候補者選考基準に係る年齢要件の見直しについて</p> <p>(2) 適正就業取扱基準に係る業務別の年齢要件の見直しについて</p>

④会計監査[1回]

開催月日	内 容
5月12日	<p>監査事項</p> <p>(1) 2019年度（令和元年度）事業報告について</p> <p>(2) 2019年度（令和元年度）収支決算報告について</p> <p>(3) 会計帳簿等について</p>

【各職域班リーダー会議等】

会議名		開催日	参加人数
剪定班	役員会議	4月28日、6月19日、3月26日	18人
	リーダー・サブリーダー会議	7月21日、2月19日	68人
草刈班リーダー会議		3月22日	13人
公園班リーダー会議		3月24日	21人
草取班リーダー会議		3月26日	16人
施設管理班リーダー会議		3月30日	15人

(2) 業務運営の効率化

- 全国シルバー人材センター事業協会主催の派遣元責任者講習会や実務担当者研修会などに出席し、事務局職員の資質向上と事務処理能力の向上に努めた。

(3) 財政基盤の強化

- 会員の確保や就業機会の拡大、労働者派遣事業等の開拓、公共業務の維持継続を図りながらセンターの事業基盤強化に努めた。
- 請求書の早期送付など会員と連携して迅速な事務処理に取り組み、早期回収と未収金の防止に努めるとともに、会費未納者へは就業機会の提供を図り、就業を通じた会費納入の促進に努めた。
- 計画的、効率的な予算執行と経費の節減に努めた。
- 受注、就業の状況は次のとおりである。

【請負・委任業務の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 8,661件 (対前年度比 707件減)
- ・契約金額 464,483,728円 (対前年度比 25,420,453円減)
- ・公共事業と民間事業の比率
公共 26.9% 民間 73.1% (うち個人 62.6% 企業等 37.4%)
- ・契約金額に占める職域群ごとの割合
 - 運搬・清掃・包装等の職業 (除草、草刈、屋内清掃など) 52.86%
 - 農林業の職業 (剪定、伐採、農作業など) 29.62%
 - サービスの職業 (家事援助サービス、駐車場管理など) 12.32%
 - 生産工程の職業 (襖障子張替、チラシ封入作業など) 2.78%
 - 事務的職業 (一般事務、宛名書き、筆耕など) 1.96%
 - 建設・採掘の職業 (大工・左官など) 0.23%
 - 輸送・機械運転の職業 (自動車運転など) 0.20%
 - 専門的、技術的職業 (刃物研ぎ、ハチ駆除など) 0.03%
- ・受託件数 12,777件 (対前年度比 1,088件減)

- ・就業延人員 109,147 人 (対前年度比 10,042 人減)
- ・就業率 79.4% (対前年度比 1.3 ポイント増)

【労働者派遣事業の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 66 件 (対前年度比 57 件減)
- ・契約金額 54,489,237 円 (対前年度比 16,396,481 円減)
- ・就業延人員 11,482 人 (対前年度比 3,524 人減)
- ・就業率 100% (対前年度比 33.3 ポイント増)